



ふるさとのお話

今泉の

源太坂



◁昭和20年代の源太坂

頼朝の名馬

県立吉原高校の西方百メートル付近の丘から、西へ向かう下り坂が源太坂です。梶原源太景季と佐々木四郎高綱の馬比べの物語を伝える場所です。

それは寿永二年（一一八三年）、源頼朝が挙兵したころの話です。そのころ、頼朝は生食、磨墨という二頭の名馬を持っていました。部将梶原源太は日ごろから、生食をほしいと思っていたので、「ぜひ、私に生食をください」と願い出ました。頼朝は、「生食と磨墨は、わしがいざというときに乗る馬だ。だれにもやらない。しかし、どうしてもと言うなら磨墨をやろう」ということで、景季は頼朝から磨墨をやつともらいました。後から頼朝にあいさつに行つた佐々木四郎は、とても望んでもだめだとは思いましたが、「私に生食をください」

今泉の小高い丘で

と思いついてお願いしてみました。頼朝はしばらく考えていましたが「そなたに生食をやるう」と案内に生食をくれました。おもしろくないのは梶原景季です。今泉の小高い丘で、「佐々木殿、生食を殿からもらつてきたのか」となじるように聞きました。高綱は笑いながら、小声になつて、「実はご貴殿が欲しいとお願ひしてもだめだった生食を、それがしごときがお願いしても、どうも望みはないと思つたので、昨日の明け方、そつと盗んできたのだ」と言いました。これを聞いた景季は、急に顔を和らげて、「畜生！ そうだったのか。それならそれがしも盗めばよかった」と笑いながら引き上げたそうです。その後、生食と磨墨の二頭の名馬は宇治川の先陣争いで互いに競い、立派な手柄をたてたそうです。

地名の由来

西
(伝法地区)

香



香西村は明治二十二年に伝法村に吸収合併されました。江戸時代、古郡氏の加島新田開発のときには既に村として成立していたので、その開発は弥生村、瓜島村と同じ時期であったと思われまます。

「香西」とは、一説では、香西村を開拓した小林香西の名をつけたのだと言われます。

江戸時代には二十戸の民家がありました。明治十年には十戸しかありませんでした。

こちら編集室

市内には公民館が二十カ所あります。これは他の都市に比べ大変多い数で、充実していると言えます。

それだけ、富士市では地域の社会教育に力を入れているわけですが、せっかくの施設も利用しなければ宝の持ちぐされ。「生涯学習」の必要性が盛んに叫ばれている今、あなたも利用してみませんか。

ニイハオ 你好



嘉興第一中学

嘉興市を代表する中学校で、1902年に創立されました。歴代校長も現在の阮望興校長で30代目。過去2人の校長は日本に留学をしたことがあります。

嘉興一中の一番の自慢は多くの文化人を出していることで、日本でも知られる茅盾という作家もこの中学出身です。

現在の教員数は152人。生徒数1,360人で26学級。日本の平均的中学校の約2倍の規模で、教員数は大変満たされています。

また、生徒の能力も高く、1985年と86年には2人の生徒が全国高中数学コンクールで1等になり、全国作文コンクールでも1位になったという進学校です。英語のLL教室も完備し、コンピューター授業も充実しています。

日本で問題になっている「いじめ」や「落ちこぼれ」の問題は、嘉興一中にはまったく存在しない問題です。